

平成29年度 幼児教育指導者養成研修実施要項

1 目的

子ども・子育て支援新制度の施行を踏まえ、質の高い幼児教育を全国の全ての子供に保障するため、幼児教育を担当する指導主事等に対し、幼児教育の指導の充実や小学校教育との円滑な接続、評価を含めたカリキュラム・マネジメントの適正な実施など、幼児教育の指導者として必要な知識等を習得させ、各学校や地域における本研修内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者の養成を図る。

2 主催 独立行政法人 教職員支援機構

3 共催 文部科学省

4 期間 平成29年10月31日（火）～11月2日（木）

5 会場 独立行政法人 教職員支援機構 つくば本部
〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

6 受講者

(1) 受講資格

- ① 都道府県・指定都市・中核市の幼児教育担当指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者（認定こども園、保育所の指導・助言を行う者を含む）
- ② 国公立幼稚園・保育所・認定こども園の教職員であって、各学校や地域における本研修内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者
- ③ 当機構の修了証書をもって単位認定を行う（予定を含む）教職大学院の学生

(2) 推薦人数

各都道府県（中核市分を含む）及び指定都市においては、1名以上とする。

教職大学院を設置する各国立大学法人、教職大学院を設置する各私立大学については、推薦人数に上限を設けない。

(3) 推薦手続

各都道府県・指定都市教育委員会において、子ども・子育て支援担当部局等と協議の上、推薦者を取りまとめ、「研修情報登録システム」（別添「受講者推薦登録業務操作マニュアル」参照）により、平成29年9月1日（金）までに申請すること。

(4) 受講者の決定

受講者については、各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦に基づき、独立行政法人教職員支援機構が決定し通知する。

なお、受講者は原則として推薦のあったとおり決定するが、推薦状況によっては当機構において調整を行う場合がある。

7 研修内容

別紙「日程表（案）」のとおりとする。演習や協議については、20名の単位（ユニッ

ト)を基本として取り組む。

8 事前学習等について

(1) 事前学習について

受講者は、本研修を受講するに当たって、自身の属する施設に関する以下の資料を事前に読んでおくことが望ましい。

- ① 「幼稚園教育要領」(平成29年3月 文部科学省告示)
- ② 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月 内閣府・文部科学省・厚生労働省告示)
- ③ 「保育所保育指針」(平成29年3月 厚生労働省告示)

(2) 資料の事前作成及び提出について

提出資料、提出方法及び期限等については、受講者決定通知の際に連絡する。

9 その他

(1) 所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。

(2) 本研修は原則として宿泊研修とし、独立行政法人教職員支援機構の宿泊施設を利用するものとする。

(3) 本研修終了後、受講者アンケート等を行う。

また、研修終了から一定期間(約1年)経過後に、研修成果の活用について、受講者に対するアンケート調査を行う。

平成29年度 幼児教育指導者養成研修 日程表(案)

10 月 31 日 (火)	受付	開講式 オリエンテーション	9:30	10:00	10:30	11:45	12:45	14:15	14:30	17:00
			講義① 「幼児教育行政の最新の動向」 文部科学省初等中等教育局 幼児教育課 ○目的：最新の幼児教育行政の動向を知る。	休憩 昼食	講義② 「幼児教育の現状と課題」 ○目的：新しい幼稚園教育要領の要点などを、最新の幼児教育の動向を踏まえながら、理解する。	休憩	講義・演習① 「新しい幼稚園教育要領、学習指導要領について(特に幼小接続について)」 文部科学省 ○目的：幼稚園教育に新たに示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」や、小学校学習指導要領を踏まえたスタートカリキュラムの編成を含む小学校教育との接続の重要性について、基本的な理解を得る。	休憩		
11 月 1 日 (水)	受付	休憩	9:00	10:30	10:40	12:15	13:15	15:45	16:00	17:00
			講義・演習② 「乳幼児理解(特に0～2歳)と保育者の援助の在り方について」 ○目的：幼児教育においては、小学校教育だけではなく、乳児期との接続、特に0～2歳の乳幼児期の保育の基本と保育者の援助の在り方について理解する。	休憩	講義・演習③ 「幼児理解(3～5歳)と指導の在り方等について」 ○目的：前の講義・演習②を受け、3～5歳の幼児の発達状況を踏まえた、幼児期にふさわしい教育の在り方について、理解する。	休憩 昼食	講義・演習④ 「幼小接続を重視した指導案の作成」 ○目的：接続期の指導案の作成及び発表を行うことを通じて、幼児期の指導計画の作成の基本を確認するとともに、幼小接続の具体的な指導の在り方について理解を深める。	休憩	講義・演習⑤ 「幼児期における子育ての支援、家庭や地域との連携について」 ○目的：幼児の生活は家庭、地域社会、幼稚園と連続的に営まれており、幼児教育と家庭、地域社会との連携が非常に重要である。家庭、地域との連携の在り方、望ましい子育て支援の在り方などについて理解を深める。	
11 月 2 日 (木)	受付	休憩	9:00	10:30	10:45	12:00	13:00	14:30	14:45	
			講義・演習⑥ 「幼児期の教育の質向上の重要性について」 ○目的：幼児教育の質の重要性について、最近の研究成果等から理解する。	休憩	講義・演習⑦ 「新しい時代に対応した教員研修の在り方」 ○目的：最新の研修の手法について学び、実際の研修で活用できるようにする。	休憩 昼食	講義・演習⑧ 「幼児教育を推進するリーダーとして～研修の企画・立案の在り方～」 ○目的：本研修を振り返り、研修成果をまとめる中で、幼児教育を推進するリーダーとしての知見を深めるとともに、各地域で幼児教育の研修講師となるための課題を整理する。	閉講式		